

KVK 壁付サーモスタット式シャワー FTB160KB(一般地・寒冷地共用) 施工説明書1

施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
 施工後は、お客様へご使用方法を十分ご説明のうえ、この施工説明書と取扱説明書をお客様へお渡しください。
 ※この施工説明書はFTB160KBRN仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。

注意 「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止 してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

- 禁止** 湯水を逆に配管しないでください。
 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
 必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 禁止** 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定することをおすすめします。
 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 禁止** この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。
 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 禁止** 配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。
 通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 禁止** 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
 水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

警告

- 必ず実行** 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合・水側を減圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側圧力より低くしてください。
 正常な調節ができなくなり、やけどをするおそれがあります。
- 必ず実行** スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。
 器具が破損してやけど・漏水のおそれがあります。
- 必ず実行** 温度調節ハンドルを目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。
 使用条件によっては目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。
- 必ず実行** ストレーナの清掃は止水弁または元栓で湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。
 高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

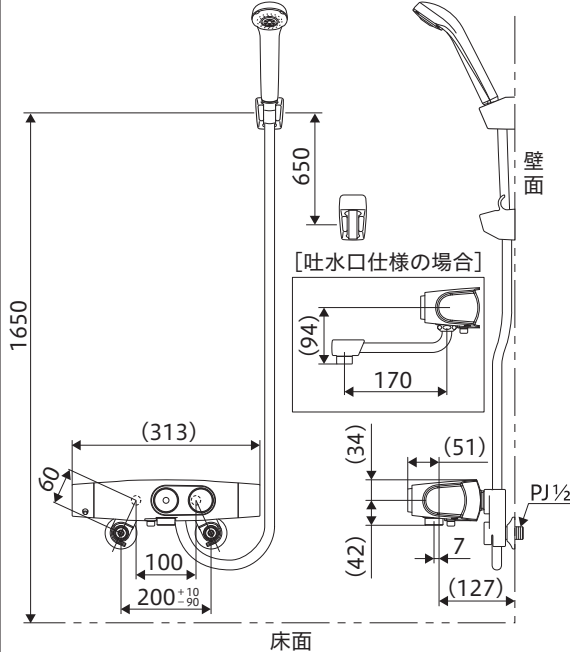
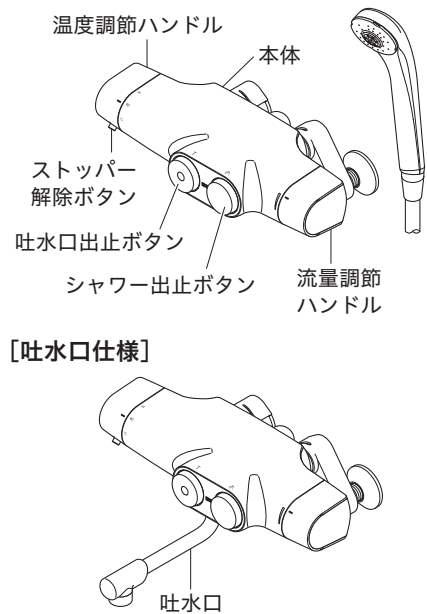
- 禁止** 器具に強い力や衝撃を与えないでください。
 器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 禁止** めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。
 鋭利な物や硬い物を当てないでください。
 めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。
- 禁止** [めっきシャワーヘッド仕様の場合]
 めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等の不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使用しないでください。
 めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。
- 必ず実行** めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。
 けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。
- 必ず実行** 凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
 水抜きしないと凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

1 取り付け前に

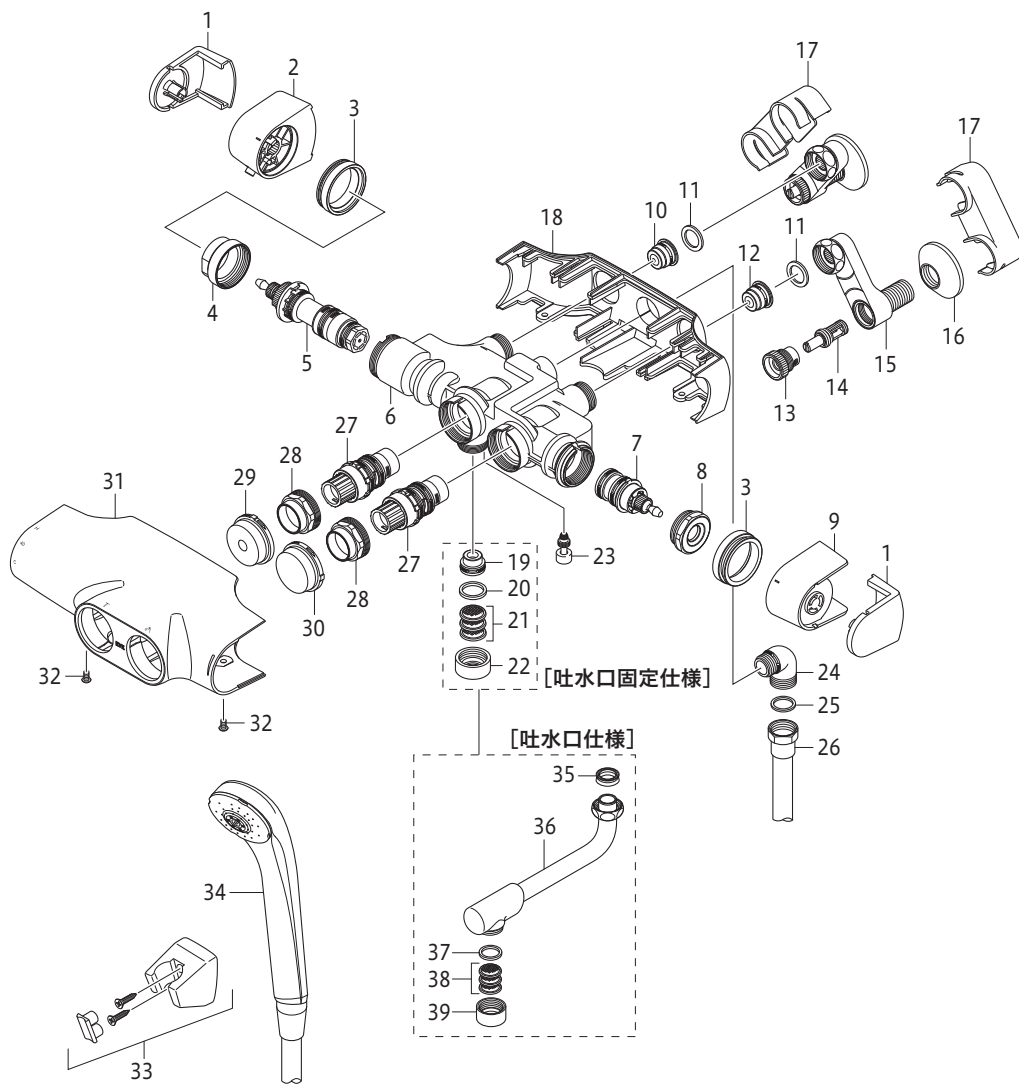
- ① 使用水圧 [A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失)]
 最低必要水圧は、シャワーヘッドの仕様によって異なる場合がありますので、シャワーヘッドの説明書をご確認ください。
 (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃/給湯器温度調節: 高温/吐水温度: 42℃/ハンドル全開) [比例制御式] 最低必要水圧: A+0.1MPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
 (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+0.1MPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
- ② 流量調節ハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の設定温度は使用する吐水温度より高めに設定してください。給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は抵抗を少なくするため、最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(構成する部品以外の取り付けや部品の取りはずし等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。
- ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- ⑫ オートストップ(自動お湯はり)機能付きの給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても少量の水が出る場合がありますが、異常ではありません。このような場合は、出止ボタンを押して水を止めてください。

2 取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図

[吐水口固定仕様]



3 分解図(部品の形状は仕様により異なります)



1 キャップ	11 パッキン	21 ストレーナ	31 トップカバー
2 温度調節ハンドル	12 水側逆止弁	22 整流器キャップ	32 トラス小ねじ
3 カラー	13 ストレーナ	23 水抜き栓	33 シャワーハンガー
4 温調固定ナット	14 止水弁	24 シャワーエルボ	34 シャワーヘッド
5 サーモスタットカートリッジ	15 ソケット	25 パッキン	35 Xパッキン
6 本体	16 送り座	26 シャワーホース	36 吐水口
7 流量調節弁ユニット	17 ソケットカバー	27 止水弁ユニット	37 パッキン
8 固定ナット	18 バックカバー	28 固定ナット	38 ストレーナ
9 流量調節ハンドル	19 リング	29 吐水口出止ボタン	39 整流器キャップ
10 湯側逆止弁	20 パッキン	30 シャワー出止ボタン	

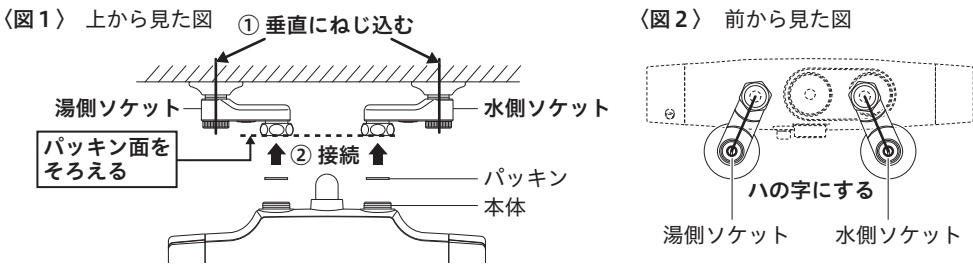
4 取り付け手順

1 給水管内の清掃 配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

2 ソケットと本体の取り付け

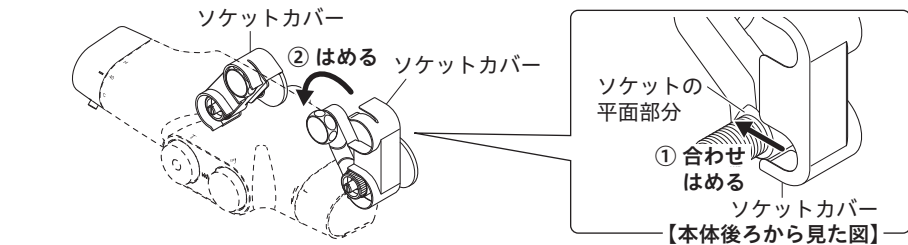
- ソケットのねじ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
【お願い】図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
(シールテープの巻き数にて調整してください。)
- 図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

② ソケットと本体を接続します。
注意 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。



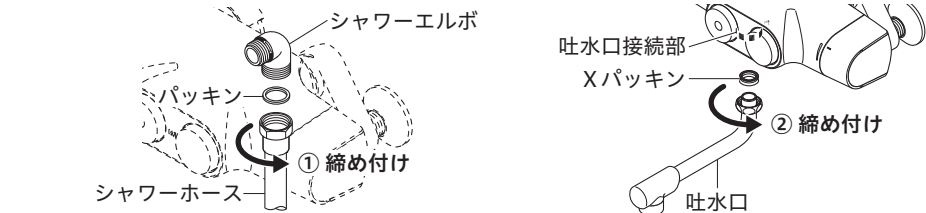
3 ソケットカバーの取り付け

ソケットカバーをソケットの平面部分(ソケット止水部裏面)に合わせはめてから、ナット部とソケットカバーを合わせはめます。ソケットカバーは湯側・水側両方にはめてください。



4 シャワーホースと吐水口の接続

- シャワーエルボにシャワーホースを接続します。
- 吐水口仕様のみ吐水口を吐水口接続部に接続します。
締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
【お願い】締め付ける際は傷がつかないように、あて布等をしてください。



5 ステッカーの貼り付け

5 ページ

5 取り付け後の点検と清掃 1

5-1 通水確認

注意 水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めに5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓からの水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

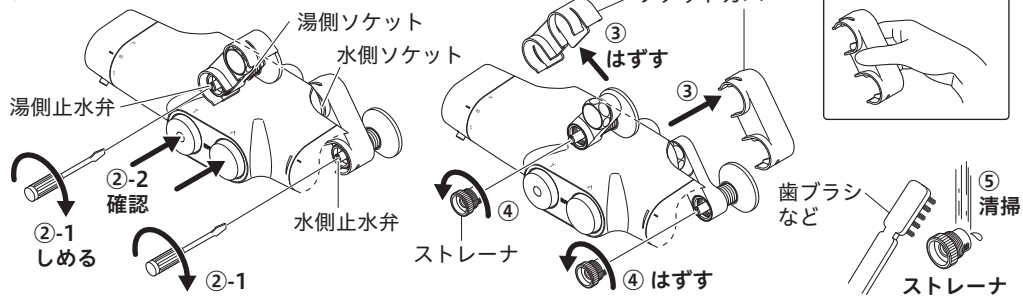
5-2 ストレーナ清掃のお願い

ソケットと吐水口のストレーナは施工後必ず清掃してください。ストレーナにゴミ等がつかりますと、吐水量が減ったり、希望する温度にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりします。

ソケットのストレーナ清掃

警告 ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

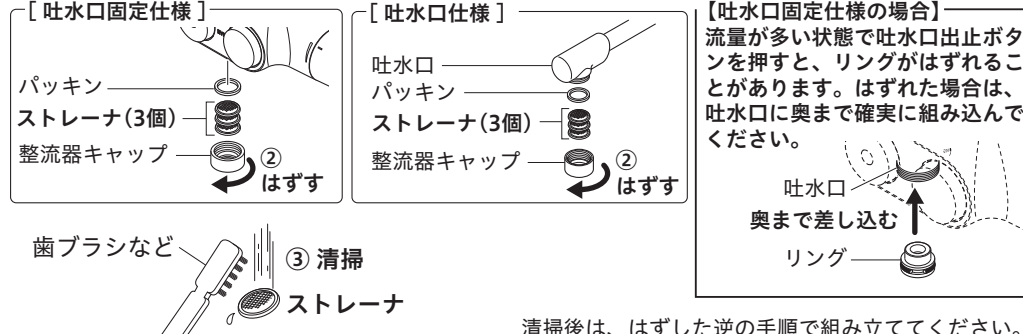
- 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- 湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ソケットカバー[2個]を斜め上方向に引いて取りはずします。
- 湯側・水側のストレーナ[2個]を取りはずします。
- ゴミ・水あか等を洗い流します。



清掃後は、上記と逆の手順で組み立ててください。ストレーナを締め込む時は、吐水口止ボタンを押して吐水状態にしてください。

吐水口のストレーナ清掃

- 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ストレーナをブラシで水洗いします。



6 ページ

5 取り付け後の点検と清掃 2

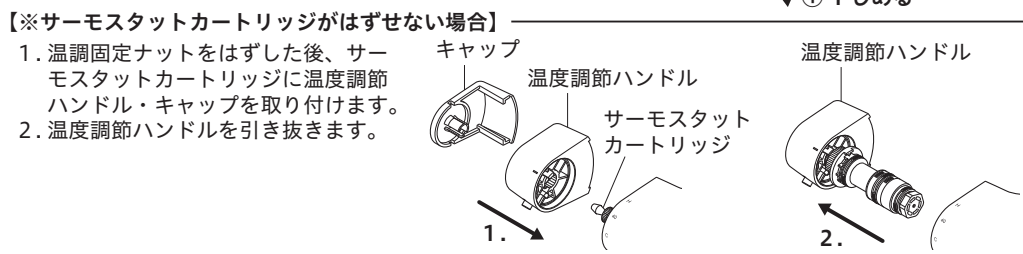
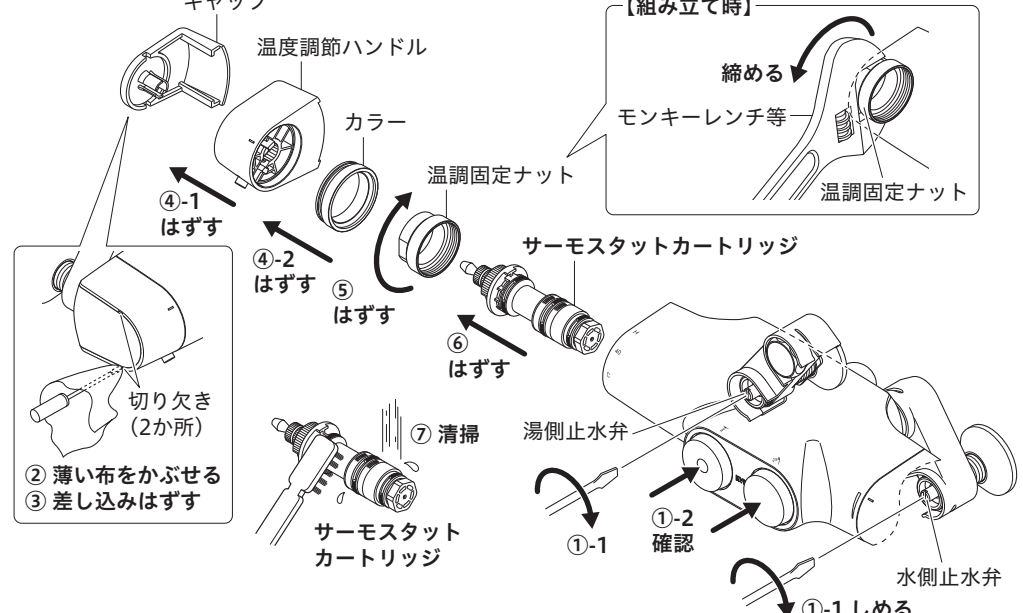
5-3 サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジは施工後必ず清掃してください。サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れなどが付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりします。

警告 サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 湯水両側の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを確認してください。
【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
- 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。
- 精密ドライバーをハンドル(2か所)の切り欠き部に差し込みキャップをはずします。
- 温度調節ハンドル、カラーをはずします。
- 温度調節固定ナットを取りはずします。
- サーモスタットカートリッジを取りはずします。
(※はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)
- サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。
お願い・組み立て時、温度調節固定ナットはモンキーレンチ等で確実に締め付けてください。
 ・取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。



7 ページ

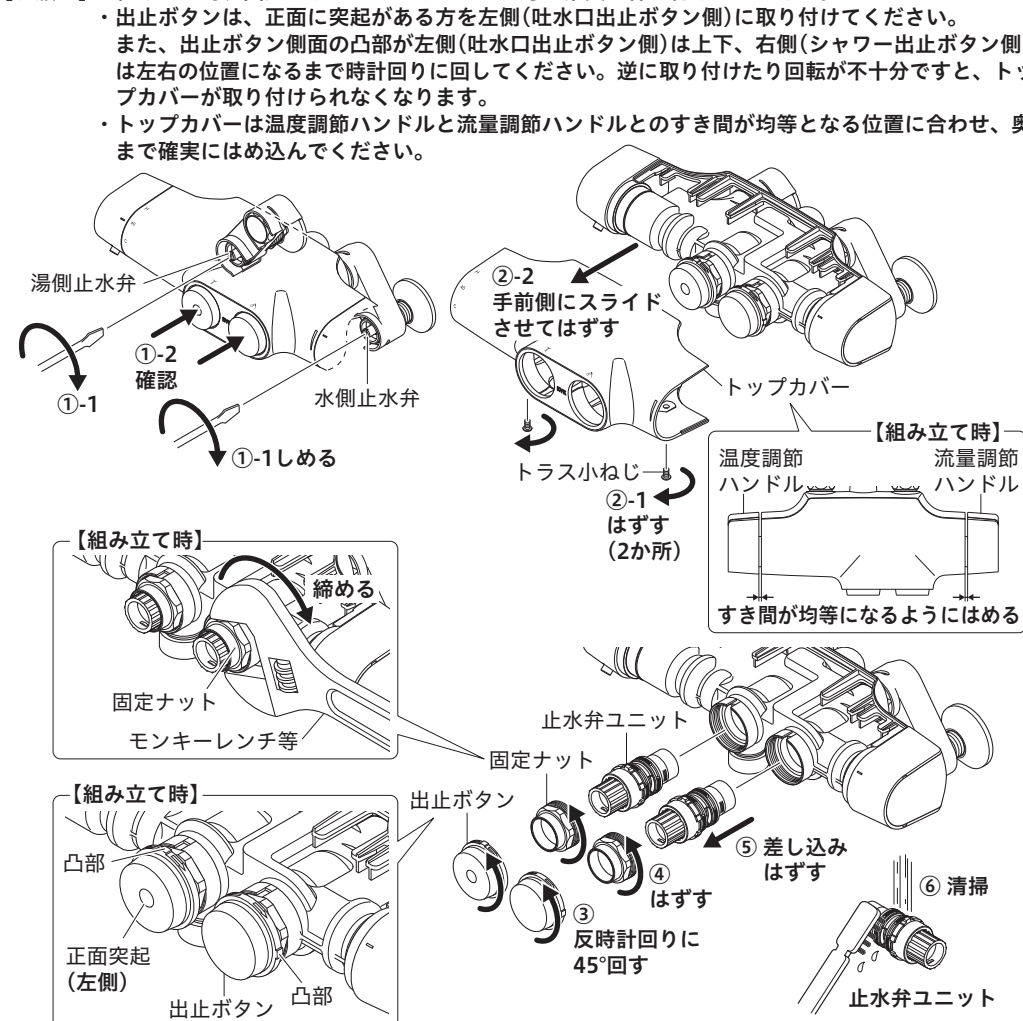
5-4 止水弁ユニットの清掃方法

吐水量が少ない場合は、止水弁ユニットを清掃してください。

警告 止水弁ユニットの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。止水弁ユニットをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 湯水両側の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを確認してください。
- 本体下側のトラス小ねじ(2か所)をはずし、トップカバーを手前側にスライドさせてはずします。
- 止ボタンを反時計回りに45°回転させてから取りはずします。止ボタンは回す時にノッチ感があります。
- 固定ナットを取りはずします。
- 精密ドライバーを本体切り欠き部に差し込み、止水弁ユニットを取りはずします。
- 止水弁ユニットをブラシで水洗いします。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。
お願い・組み立て時、固定ナットはモンキーレンチ等で確実に締め付けてください。
 ・止ボタンは、正面に突起がある方を左側(吐水口止ボタン側)に取り付けてください。また、止ボタン側面の凸部が左側(吐水口止ボタン側)は上下、右側(シャワー止ボタン側)は左右の位置になるまで時計回りに回してください。逆に取り付けたり回転が不十分ですと、トップカバーが取り付けられなくなります。
 ・トップカバーは温度調節ハンドルと流量調節ハンドルとのすき間が均等となる位置に合わせ、奥まで確実にめ込んでください。

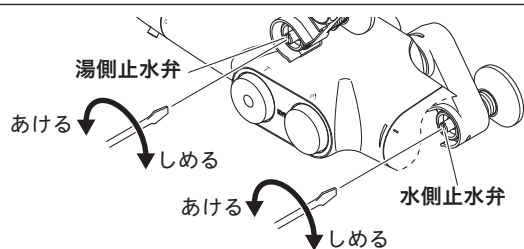


8 ページ

5 取り付け後の点検と清掃3

5-5 流量の調節方法

右記の方法で止水弁を操作して流量の調節をしてください。
時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。
また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量となります。



5-6 温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしています。使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛と吐水温度がずれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

- 温度調節ハンドルの設定前に確かめてください
- ・止水弁はあいているか
 - ・ストレーナにゴミづまりがないか
 - ・給湯器の給湯温度は50℃～60℃に設定されているか

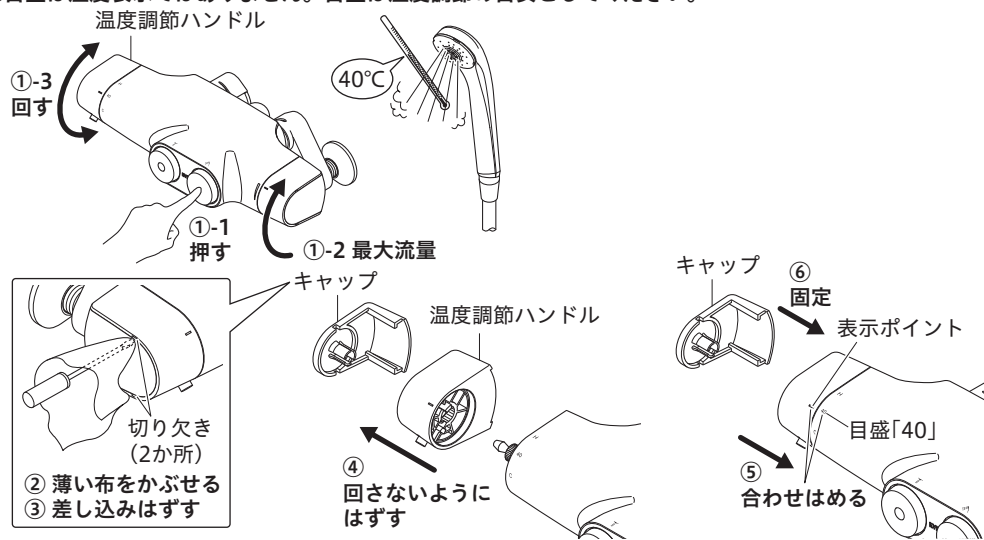
① シャワー出止ボタンを押して吐水状態にし、最大流量で目盛に関係なく適温(約40℃)のお湯が出るところまで、温度調節ハンドルを回します。

【お願い】 キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

- ② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。
- ③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部(上下2か所のどちらか)に差し込みキャップをはずします。
- ④ 温度調節ハンドルを回転させないようにします。
- ⑤ ハンドルの表示ポイントを温調表示の目盛「40」に合わせてはめます。
- ⑥ キャップで温度調節ハンドルを固定します。

【お願い】 取り付け後は、温度調節ハンドルの表示ポイントが目盛「40」の位置で吐水温度が適温(約40℃)になっていることを確認してからご使用ください。

※目盛は温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。



9 ページ

5-7 流量調節弁ユニットの交換方法

流量調節弁ユニットは下記の方法で交換してください。

警告 流量調節弁ユニットは、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。流量調節弁ユニットをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

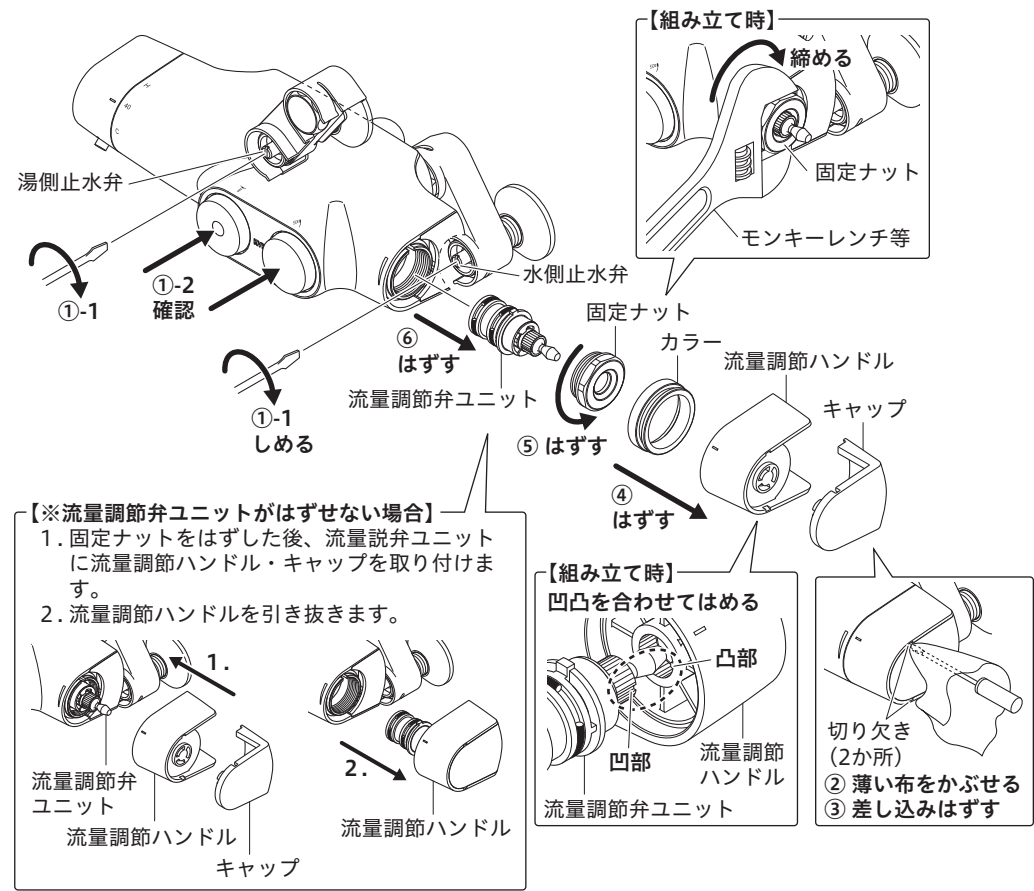
- ① 湯水両側の止水弁[2か所]または元栓をしっかりしめて、湯水が出ないことを確認してください。
- 【お願い】 キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
- ② 薄手の布を精密ドライバー先端にかぶせます。
- ③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部(上下2か所のどちらか)に差し込みキャップをはずします。
- ④ 流量調節ハンドル・カラーをはずします。
- ⑤ 固定ナットを取りはずします。
- ⑥ 流量調節弁ユニットをはずします。

(※はずせない場合は、流量調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)

新しい流量調節弁は、はずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】 ・組み立て時、固定ナットはモンキーレンチ等で確実に締め付けてください。

・流量調節ハンドルの凸部を流量調節弁ユニットの凹部と合わせて取り付けてください。



10 ページ

6 故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。
修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ
湯水が止まらない	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない (シャワーが弱い)	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	取扱説明書9ページ「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6ページ「ストレーナの清掃方法」
	ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	9ページ「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	9ページ「流量の調節方法」
	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に上げる		—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	9ページ「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6ページ「ストレーナの清掃方法」
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	9ページ「温度調節ハンドルの設定方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	6ページ「ストレーナの清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に設定し、水側止水弁を絞ることにより、改善される場合があります		—

水栓本体内部のメンテナンスをする場合

注意 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。